

山形法務総合庁舎

～ 周辺環境との調和と環境負荷低減を目指して ～

【東北地方整備局 営繕部】

【設計概要】

（外観・外構計画）

外観は明るく淡いグレートーンを基調としたタイル張りとし、隣地の最上義光歴史館や税務署と調和を図っています。

また、外壁面をグリッドにより分割化し、周辺の住宅や低層建物とスケール感を調整しています。敷地内緑化は、視覚的に隣接する公園緑地との連続した景観創出を行っています。

（平面・空間構成）

採光・換気に自然エネルギーを活用し、きめ細やかな空調・照明システムの導入により、快適な執務環境、環境負荷低減を図り、将来のレイアウト変更にも対応可能なフレキシブルな計画としています。

また、ユニバーサルデザインに留意し、高齢者、身障者を問わず、全ての人に利用しやすい庁舎としています。



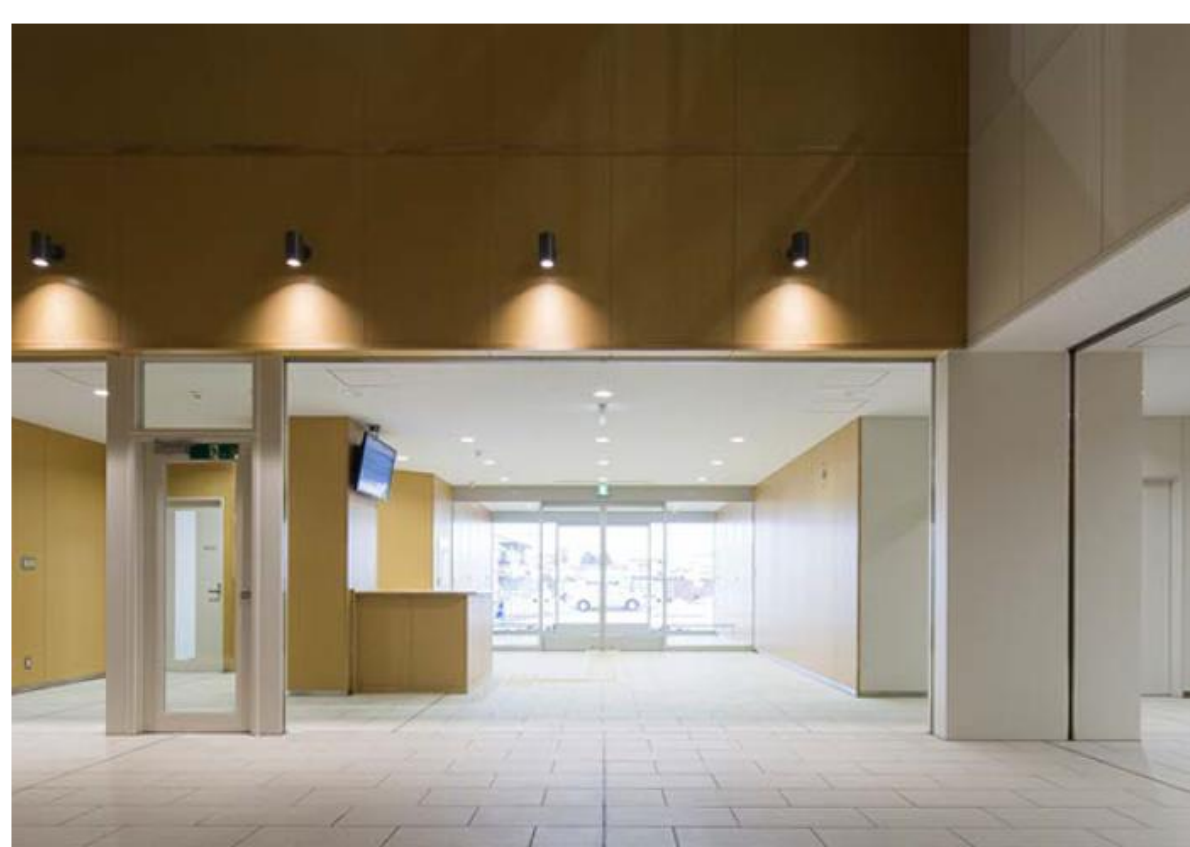
〔東側沿道緑地から庁舎を望む〕

構造：鉄筋コンクリート造
地上4階、地下1階、
塔屋1階建

延べ面積：6,900㎡

完成年度：平成28年度

入居官署：山形地方検察庁
山形区検察庁
山形保護観察所



〔太陽光発電モニター表示のある受付及び玄関ホール〕



〔融雪対応のアプローチ歩道と木材活用を図った自転車置場〕



〔建物中央には自然採光・換気を考慮した4層吹抜け空間〕